



T.T. 英語英文学科 3年次生

参加期間： 2012年3月4日～3月11日（8日間）

## I. プログラムについて

実習の準備は、事前に日本で教案を作成していき、担当の先生を初め色々な人からアドバイスをもらいながら作っていきました。台湾に行ってから、担当する初級クラスの授業を実際に見学しました。初級クラスでしたが、思っていたより学生さん達が話することができていたので、教案の修正をし、授業をやりました。行く前と後では、私が思っていたものと全然違うので教案の修正が本当に大変でした。また、担当の先生以外にも違う先生に相談する時間があるので、色々な先生から指導をもらえる機会がありました。

政治大学で日本語を学んでいる学生さん達（チューターさん）が、初日から最後までずっとお世話してくれました。学生さん達のおかげで、実際の台湾の人たちが食べている料理や普段良く行くお店など色々連れていってもらい、1週間と短い間でしたが現地の人の生活を体験することができました。食事のメニューも中国語で書かれているのでどんな食べ物かわかりません。でもチューターさんが事前に日本語に訳したりしてくれたり、写真を載せたものを用意してもらったりと本当に親切でした。



## II. 参加希望者へのアドバイス

私は、日本語教育を履修しており、教職課程も取っておらず、今まで教師という立場にたったことがなかったので、この実習に参加するまで楽しみな反面、とても不安でした。しかし実際の日本語教育の現場を見て、経験することができ参加して良かったです。

この実習で多くのことを学び、日本語教育の現場を実際に見ることができ、貴重な体験をすることができました。また、今回の実習でたくさんの人達と出会い、本当にいい思い出です。私が日本語教育副専攻を履修し始めた理由の一つは、いつか外国人に日本語を教える機会に恵まれればよいなと思ったからです。この先、教える機会があれば、今回の実習で学んだことを活かしたいです。





M.S. 日本語日本文学科 2 年次生

参加期間： 2012 年 3 月 4 日～3 月 11 日 (8 日間)

## I. プログラムについて

このプログラムは、教壇実習・授業見学・政治大学の先生からのご指導・授業以外の時間で構成されています。

教壇実習は、思っていたよりもとても楽しくできました。政治大学の学生さんは賢く積極的な方が多いのでとてもやりやすかったと感じています。大変なのは実習本番前までの準備です。1 か月以上前から政治大学でご指導いただく先生と連絡を取り、教案作りと直し・教材作りをします。この準備ができていればいるほど、直前に焦ることは少ないと思います。もちろん実習するクラスを見てから変更したい点が出てきて、向こうで変更することもあると思いますが（全員程度の差はありますが修正を加えました）、準備しておくに越したことはありません。

授業見学は、とても興味深かったです。先生ごとにユニークな授業をなさっていて、学生さんの反応も教室の雰囲気も様々です。本学で授業を受けているだけでは実際の授業を見ることは少ないので今回の実習で多くの先生方の授業が拝見できてよかったと思います。

先生からのご指導では、教壇実習の教案にアドバイスを頂いたり、模擬授業をしてみて感想を頂いたり、「日本語教育とは、授業とは」といった内容でお話を伺ったりしました。政治大学にはベテランの先生が多くいらっしゃいますので、お話を聞くだけでもとても勉強になります。

授業以外の時間では、チューターさん（政治大学日本語文学科の 3、4 年生）がずっとついていてくださったので困ったことは一切ありませんでした。夜市や山、博物館などいろいろなところに案内してくださいました。ですが、私たちの実習の予定も考えていてくださったので、遊びすぎるということはなくちょうどよかったと思います。私たち実習生とチューターさんの会話はすべて日本語です。完璧な日本語というわけではありませんが、問題なくテンポのいい会話ができるレベルです。本当に日本語がうまい方たちです！！少しの誤用もとても興味深く、勉強になります。

短いですが、以上のことがこのプログラムの体験記です。私たち実習生が、勉強に遊びにとっても充実した 1 週間で過ごしたことが伝わっていただければ幸いです。



## Ⅱ. 参加希望者へのアドバイス

実習に関しては、事前の準備と本番での臨機応変な対応が必要になると思います。授業では教材作成(初級)・テキストの語句に関する下調べ(中級)など準備が大切で、このプログラムに参加が決まればしっかり準備なさるかと思います。ですが実際の授業は教案通りにはいきません。スムーズにいく予定だったところで時間がかかってしまったり、その反対もあるでしょう。そのときに焦ってしまうのではなく、落ち着いて次の項目へ進めるように、教案に縛られすぎないことが大切です。そして何より大切なのは自分らしい授業をすることです。いろいろな方からご指導いただくとありますが、常に自分らしさを忘れずにがんばってください。

生活面に関しては何も心配することはありません。宿泊する場所は普通のホテルと変わらない設備でアメニティも十分あります。困ったことがあってもチューターさんに聞けば何とかできます。服装に関して、1週間のうちに暑い日も寒い日もあります。晴れば27℃、28℃あり半袖で十分ですが、寒ければ10～15℃です。どちらにせよ日本よりはかなり暖かいです。寒い日・暑い日どちらにも対応できるようになさった方がいいかと思います。また、よく雨が降ります。折り畳み傘は必須です。ですが台北には何でもあるので、もし何かなくても近くのコンビニやドラッグストアで購入できるので心配する必要はありません。

